

子どもの日本語教育研究会第11回大会（2026年2月28日）発表10

**多言語背景をもつ児童生徒の日本語支援における  
対話型鑑賞（VTS）の可能性  
—地域の学習支援における実践の再分析—**

矢部 まゆみ  
横浜国立大学 非常勤講師

# 背景 1 対話型鑑賞（VTS）とは

Visual Thinking Strategies

開発：ニューヨーク近代美術館（MoMA）

特徴的な【3つの問い】

Q1. 「この作品の中で何が起きている？」

What is going on in this picture ?

Q2. 「作品のどこから（どこを見て） そう思う？」

What do you see that makes you say that ?

Q3. 「もっと発見はある？」

What more can you find ?

→ ヴィジュアル・リテラシー、批判的思考力、  
言語能力の育成

（ヤノウィン、2015）



図1：Canva AIにより生成

## 背景2 多言語背景の児童生徒への日本語支援

- ・ VTSは言語教育でも応用が進んでいる

### 英語教育

米国 ESL/EFL : Clark-Grace & Meyer (2023) など

日本 大学生対象EFL : 宗像 (2024) など

### 日本語教育

留学生対象 : 桐澤 (2021)、牧ほか (2024) など

- ・ 日本における「外国につながる児童生徒」の日本語習得と思考力の涵養を統合的に支援できる可能性  
⇒ 地域の学習支援教室においてVTSを応用した活動を実践

# 研究目的

- 本研究の問い：

VTSは多言語背景をもつ児童生徒の日本語習得や思考力涵養にどのように機能し得るか

- アプローチ：

地域の学習支援教室における自身の実践事例を分析  
特に「根拠を述べる」側面に注目

# 実践概要

- 実践場所 地域学習支援教室（横浜市内）
- 期間 2024年11月～12月
- 対象 中学1年生 生徒A  
(VTSの活動にはAの母親と大学生ボランティアも参加)

※本実践は、2023～2024（令和5～6）年度文部科学省委託事業「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」の一環で、任意団体「わたぼうし教室」の協力を得て実施。実践の記録は、東京外国語大学多言語多文化共生センター「日本語能力評価方法の改善のための調査研究」事業推進委員会（2025）第二章に「実践記録 No.31」として収録（pp. 413-424）





# 実践の内容と展開

## めあて

- ・ 観察力など、自分が持っている力に気づかせ、自信を持たせながら学習動機を高める。
- ・ 語彙・表現を拡充する
- ・ 思考力と言葉の力を伸ばす

## 活動の流れ（全2回）

第1回

1. ウォープアップ  
アートカード ゲーム  
(共通点さがし・物語作り)

2. 対話型鑑賞

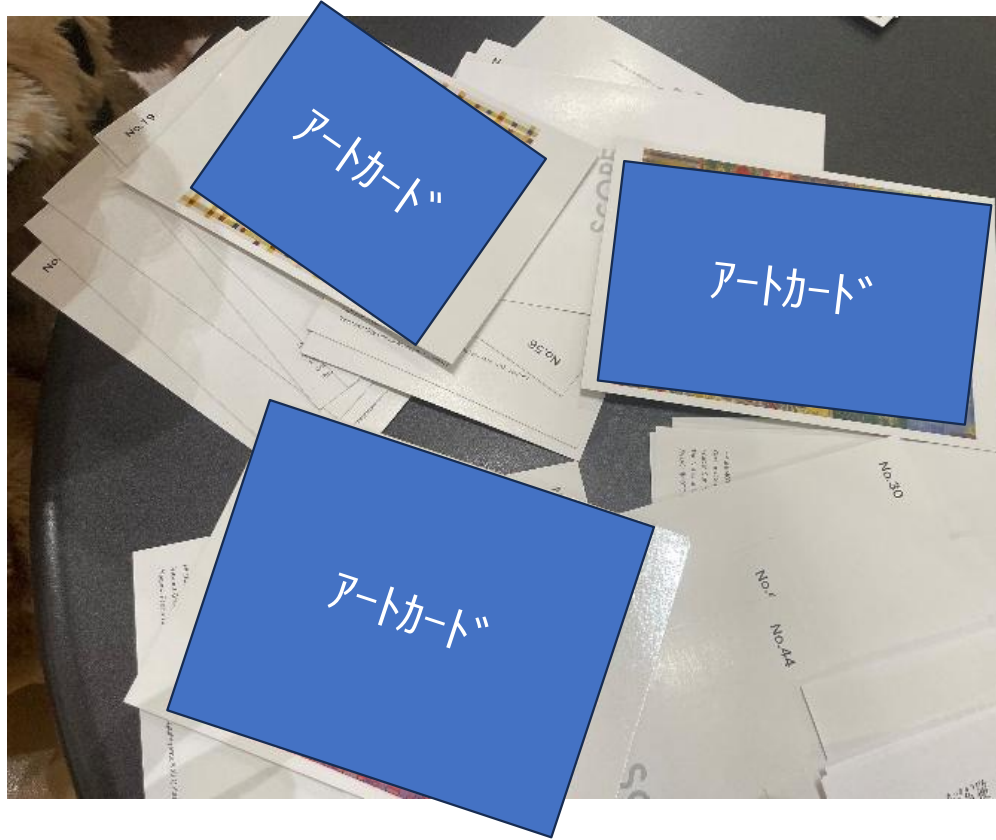
3. 単文での作文練習  
(ワークシートA)

第2回

4. 段落のある作文練習  
(ワークシートB)  
下書き  
清書

# 実践の内容と展開 1

ウォームアップ： アートカードゲーム（15分）



- ・ 共通点さがし
- ・ 物語づくり

美術教育出版エデュケーショナル  
「鑑賞教育用教材 SCOPE スコープシリーズ： SCOPE アートポストカード集 Vol.2」

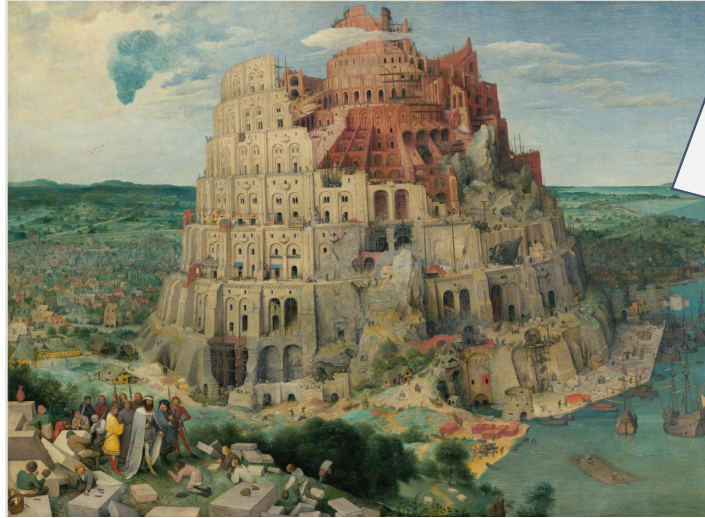
# 実践の内容と展開 2

VTS (15分)



# 実践の内容と展開 2

## VTS (15分)



作品：  
ブリューゲル, P. 「バベルの塔」 1563年  
美術史美術館 (the Kunshistorisches Museum)

<https://www.khm.at/objektdb/detail/323/?offset=12&lv=list>

F: この絵の中で、何が起っていますか。見つけたこと、感じたこと、疑問に思ったこと、何でもいいから話してみよう。

A: 地震が起きた

F: 地震が起きたっていうのは、どこからそう思ったの？

A: (建物が崩れているところを指さしながら) こういうやつとか、こういうやつ。これちょっとぐちゃぐちゃになっている。

F: このへんが崩れて落ちているのを見て、地震が起きたと思ったんだね。なるほど。

大学生: 非日常。

F: 非日常。いつもと違うことが起きた。そう感じたのは、どこから？

大学生: この家がこわれて、ここで暮らしているひとたちの、いつもの暮らしが壊されたんじゃないかなと。

A: それで、この人は、おれは大丈夫、助けてあげようかって。なんか偉い人かもしれない。

母: King みたい

F: ああ、お母さんは「王様」だって。王様みたいっていうのは、どこからそう思いましたか。What do you see that makes you say that?

母: I'm not sure...they are begging? このpositioning, kneeling down.

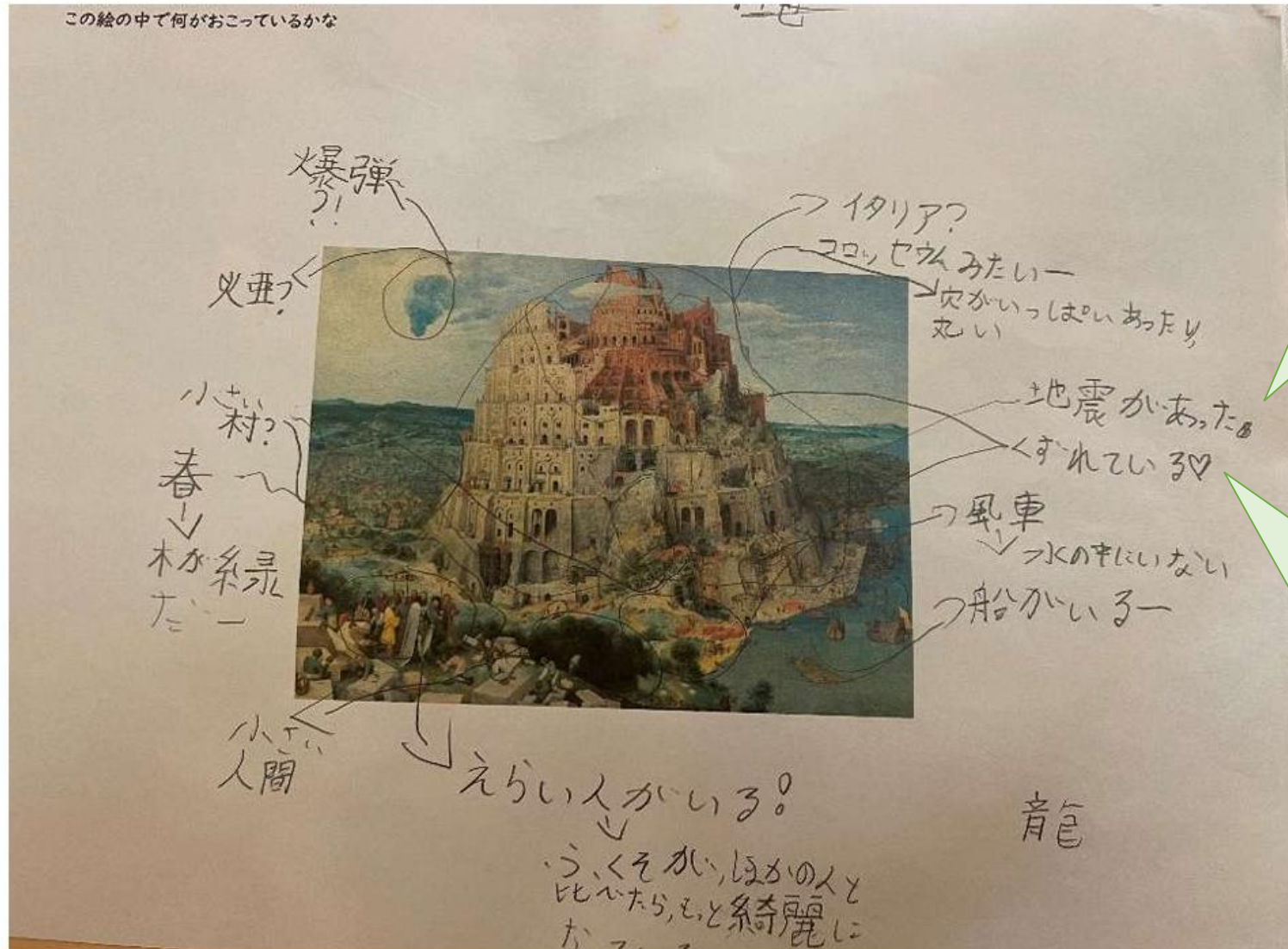
A: "Give me money" とか(笑)。

なんか、服装。この高そうなやつとか。これ。

F: なんだか偉そうな、王様みたいな人、権力がある人がいる。周りの人が体を低くして、頭を下げて、お願いしている。そして立派な服をきているから、偉い人だって、思ったんだね。

# 実践の内容と展開 3

## ワークシートA キーワード・単文を書く



A: 「じしん」の漢字は?  
F: (書いて示す)

→ 「地震があつた」  
と記入

A: こわれている?  
くずれている?  
(Fの反応を確認)

→ 「くずれている」  
と記入



# 分析方法

## 資料

- 録音記録
- ワークシートの記述

## 焦点

- 根拠を示す記述はどのように生成されたのか



# 結果 2 根拠明示記述の生成プロセス

## 5 か所の生成に共通のプロセス

[a]

- F「どこからそう思う？」 → 参加者の応答 → Fのパラフレーズ

[b]

- ワークシートA： 生徒が自ら表現や表記（漢字）をFに尋ね、確認して書き込み

[c]

- ワークシートB：「下書き」では、ワークシートAでの書込みをもとに自力で該当箇所を書き進めている
- （清書段階で、ことば・段落の調整をFが手助け）

## 結果3 対話を通して獲得した語彙

- 清書作文に出現した新しいことば 7語

建物	コロッセウム	くずれる
風車	霧困気	～のあたりに
りっぱ		

- 当初は生徒Aが自力で使用できなかった
  - VTSでのパラフレーズの中でFが使用
  - ワークシートAB記入時にFと対話しながら確認
  - ワークシートBの作文清書で使用

# 考察1 情意・思考・言語の連動

- アート作品  
→ 生徒の視覚に訴え、情意に働きかける力
- 根拠を求める問い+Fによるパラフレーズ  
→ 足場架け (Scaffolding)
- 効果： 思考の活性化、  
語彙の拡充、  
言語情報の適切な整理の促進

CALP  
(認知学習言語能力)  
の発達

# 課題

- ファシリテーションの多面的な鍛錬  
参加者の視点の核を捉えた「発言の関連付け」
- 多言語多文化背景の児童生徒に適した作品・題材の調査・検討
  - 「作品から物語が紡ぎやすいこと」
  - 「対象者が理解可能な意味内容であること」
  - 「思考を刺激するのに十分な複雑さと多義性があること」
  - など（ヤノウィン、2015）

# 引用文献

桐澤絵里奈 (2021) 「日本語上級クラスにおける Visual Thinking Strategies を取り入れた授業の効果と課題」 『APU 言語研究論叢』 6、立命館アジア太平洋研究センター、p.95

鈴木有紀 (2019) 『教えない授業 美術館発、「正解のない問い」に挑む力の育て方』 英治出版

宗像花草 (2024) 「相互支援を通じた多様な視点の受容と発信 最近接発達領域に基づく対話型鑑賞手法を応用した英語コミュニケーション活動」 『言語文化教育研究』 22、言語文化教育研究会、pp.70-89.

牧彩花・藤田百子・朝倉郁子 (2025) 「日本語教育における対話型美術鑑賞の有効性」 『日本語教育方法研究会誌』 31(2)、日本語教育方法研究会、pp.4-5.

ヤノウィン、P. (2015) 京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター訳 『どこからそう思う？ 学力をのばす美術鑑賞ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ』 淡交社

Clark-Gareca, B., & Meyer, T. (2023). Visual thinking strategies for English learners: Learning language through the power of art. *TESOL Journal*, 14(2), e698.